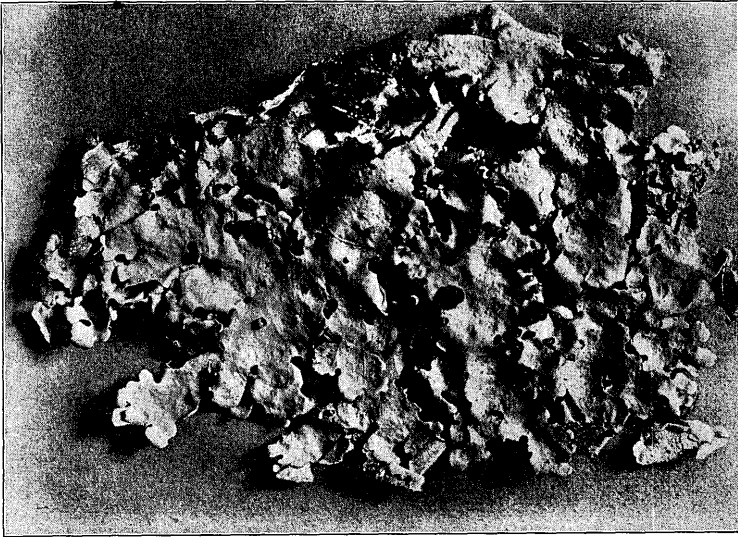




てりはよろひごけ (*Sticta platyphylla* Nyl.) $\times 1/1$

(舊軒撮影)

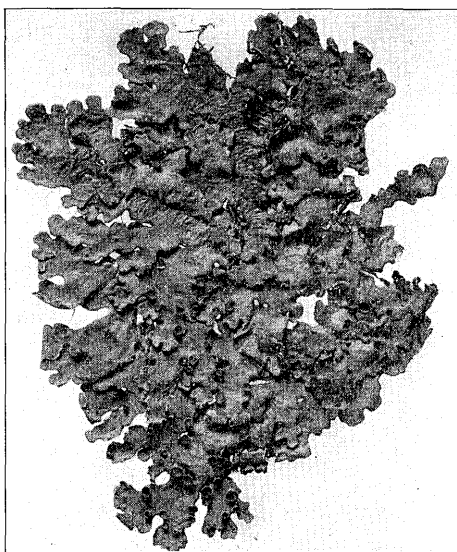
ニ就テハ聊カ辯明シタイケレドワザト此ニハ省略シテ置ク
ガ其レハ世間ニ公開シテモ少シモ耻カシクナイ事ダ
右ノ新聞記事ハ多分地方ノ新聞ニモ載ツテ各地ノ友人知人
ナドノ眼ニモ觸レタ事ト信ズルカラ誤解ヲ避ケンガ爲メニ
此ニ其真相ヲ明ニシテ置ク事ハ私ノ爲メニハ頗ル必要ナ事
ト思ヒ此クモ長々ト其顛末ヲ叙シタ次第デアル「蜃氣樓人
さはがせしまぼろしも消えて痕なしもとの海山」

○舊 軒 獨 語 (其十八)

舊 軒 朝 比 奈 泰 彦

○よろひごけトてりはよろひごけ

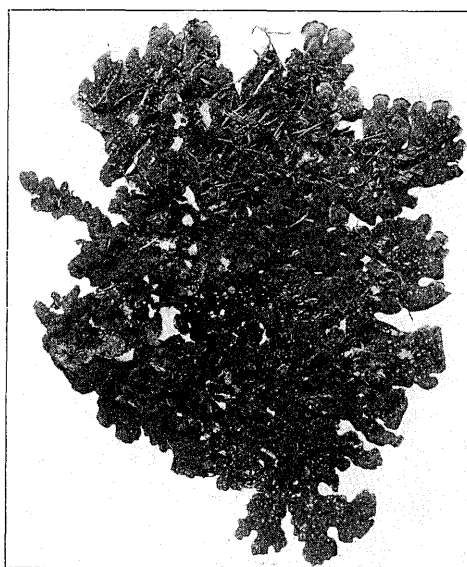
よろひごけハ即 *Sticta Miyoshiana* Muell. Arg. ノ和名
デアル吾國南北ヲ通ジテ産シ美シキ大形地衣ニ屬スル其大
ナルモノハ徑ニ「デシ」ニ達シ殆ド圓形又ハ橢圓形ニ廣ガリ
多數ノ瓣片ニ分裂シ裂片ノ先端ハ圓ルミアリテ僅ニ凹入セ
リ表面ハ乾燥時ハ新シキモノニアリテハ淡灰綠色古クナル
ト灰褐色ヲ呈シ短キ毛茸ヲ生ズルニヨリ滑カナラズ裂片ノ
先端ハ往々褐色ヲ帶ブ裏面ハ殊ニ中央部ニ於テ黒褐色ノ長
キ綿毛狀ノ毛茸生ジ所々ニ白色ノ盃點アリ主ニ樹皮上ニ着



(雷軒撮影)

よろひごけ (*Sticta Miyoshiana* MUELL. ARG.)

表面 ×4/5



(雷軒撮影)

よろひごけ (*Sticta Miyoshiana* MUELL. ARG.)

裏面 ×4/5

生ス、然ルニてりはよろひごけ(新稱)ナルモノアリ外形よろひごけニ酷似シ之ト分布ヲ同ウシ且往々近接シテ發育セリ從テ各地ノ君子兩者ヲ混同セルコト稀ナラズ
 てりはよろひごけトハ *Sticta platyphylla* Nyl. ニ新ニ命ジタル和名デアル故齋田博士ノ内外普通植物誌下等植物篇第四五四頁ニ兩者ノ區別ヲ掲グト雖完全ナラズ、てりはよろひごけハ葉質よろひごけヨリ薄ク表面平滑デアルノデ違フガ更ニ確實ナル區別ハ左ノ通りデアル

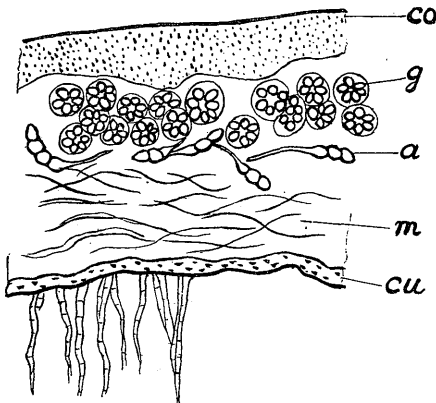
よろひごけ

てりはよろひごけ



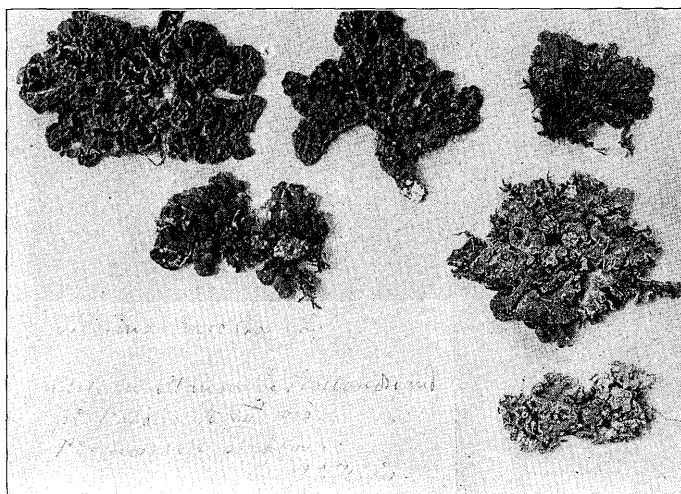
(蓄軒撮影)

きんぶちごけ (*Stictia aurata* ACH.) $\times 1/1$



にせきんぶちごけ葉體ノ斷面
 co 表面皮層 g 綠顆粒 a テヨロギ様菌絲
 m 髓層 cu 裏面皮層 (蓄軒原圖)

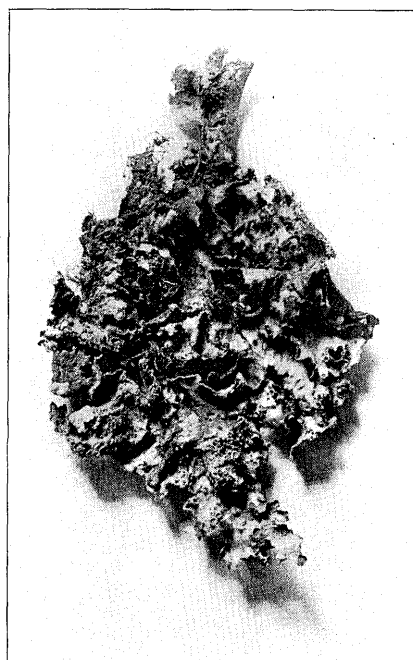
髓部ハ苛性加里ヲ點シタル後漂白粉溶液ニヨリ變ゼズ
 胞子ハ針狀ニシテ通常四室 $30 \times 5 \mu$
 精子(「ビクノスポーア」)ハ長橢圓形 $5 \times 1.5 \mu$
 ○きんぶちごけトにせきんぶちごけ
 きんぶちごけトハ *Stictia aurata* ACH. ノ和名デアアル本邦各地ニ産シ主トシテ樹皮ニ着生スル、大ナルモノハ徑
 同上ノ操作ニヨリ橙赤色ヲ呈ス
 胞子ハ紡錘狀ニシテ四室 $50 \times 7 \mu$
 精子ハ桿狀ニシテ兩端稍肥厚ス $4 \times 1.5 \mu$



Stictia crocata Achn.

(外國產標本)

(當軒撮影)



にせきんぶちごけ (Stictia Mougeotiana DEL.)

×1/1

生時ハ表面快綠色ヲ呈スレドモ永ク腊葉トシテ保存スルトキハ
 赤色ヲ呈スルニ至ル邊縁ハ黃金色ノ粉芽デ縁取ラレ裏面ニハ帶
 褐色ノ絨毛ヲ密生シ諸所ニ黃粉ヲ吐ク擬歪點ヲ見ル予ハ未ダ本
 種ノ子器ヲ附ケタル内地產標本ヲ見ズ Hue 氏ニヨルト Species
 rarissime apothecifera トシテアルカラ子器ノ附クコトハ中々稀
 ナモノト覺エル
 にせきんぶちごけトハ Stictia Mougeotiana DEL. ニ與ヘタ和名
 デアル故安田篤氏ハきひめかぶとごけト呼ビシコトアルモかぶ

二「デシ」ニ達スル葉狀地衣多數ノ裂片ニ分レ

内地產虎斑竹ト臺灣產豹紋竹トノ寫眞

とごけトハ外形甚ダ異リ寧ロ甚ダ屢々前種ト混雜サル、ニヨリ如上ノ新和名ヲ撰ンダ次第デアル、本地衣ハ吾國各地ニ最モ普通ナル種ニ屬シ往々掌大ニ廣ガルモノアリ多數ノ瓣片ニ分レ表面灰褐色乃至褐色裏面ニ暗褐色ノ絨毛ヲ密生シ邊緣ニ黃金色ノ粉芽ヲ以テ緣取ルコトさんぶちごけト同ジ、裏面ノ擬盆點亦黃粉ヲ吐ク、但さんぶちごけノ綠顆粒ガ原球藻デアルニ對シコレノハ念珠藻デアル、本種ニ二變種アリ邊緣並ニ裏面ニ粉芽ヲ有スルモノヲ *var. aurigera* Del. トナシ粉芽邊緣ノミノモノヲ *var. xantholoma* Del. ト云フ、然シ中間ノモノ亦尠ナカラズ、又本種ノ子器モ矢鱈ニ出會ハナイモノデ予ハ富士須走、臺灣デ見付ケ前原勘次郎君ハ肥後デ之ヲ獲タ、ツァールブルックナ博士ハ余ノ送ッタ富士產標本ノ有子器ノモノヲ *Sticta crocata* Ach. ト檢定シタガドウモ納得シ兼ネル *S. crocata* モ外見大ニ似テ居ルガ胞子ガ二室デ *Mougeotiana* ノ四室ナルノト異ル而シテ余ノ標品ハ幼稚ノモノハ二室デアルガ充分生育シタ胞子ハ皆四室デアルカラデアル、にせさんぶちごけノ「ゴニデア」層ニ接スル髓層ノ菌絲中所々ニちよろぎ形ヲシタ膨脹セル細胞ガアル、コレハ *crocata* ニモアルガさんぶちごけ (*S. aurata*) ニハナイ

○内地產虎斑竹ト臺灣產豹紋竹トノ寫眞

理學博士 川 村 清 一

本誌第四卷第五號ニ載セタル拙稿『臺灣產斑竹(豹紋竹)菌ノ卑說』ノ中ヘ内地產虎斑竹ト臺灣產豹紋竹トノ寫眞ヲ入レテ置イタガ更ニ別ニ此二ツヲ撮影シタカラ重出ニハナルガ無イヨリハ有ル方ガ參考ニナルト思ヒ重複ヲ厭ハズ再ビ此處ニ掲出シタ

即チ A ハ内地產虎斑竹デ菌絲塊ヲ除去シ磨キテ其斑紋ヲ現出セシメタモノ
B ハ同ジク菌絲塊ガ附着シタ天然ソノマ、ノモノデ共ニ寄生ノ竹ハなりひらだけ即チ *Semiarundinaria fastu-*